

## 国際開発学会第 31 回全国大会について

国際開発学会は日本における国際貢献、また途上国の国際開発協力に関する研究や学術的な発展を目指して 1990 年に設立されて以来、様々な学問体系を横断的に組み合わせながら、毎年全国大会が開催されてきました。2020 年度の全国大会は、今年創立 120 周年を迎える津田塾大学（千駄ヶ谷キャンパス）で実施される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、全面的にオンラインで実施することと JASID 本部、事務局、大会組織委員会、および実行委員会で話し合いの結果、この度決まりました。

大会の全体テーマ「今、変化する時：包摂的な社会に向けたイノベーション」(Time for Change: Innovation for Inclusive Society) は、新型コロナウイルス感染症がまだそれほど広まっていなかった今年 1 月に“今、世界も日本も大きな転換期にあり、どのような社会変革が求められているのか、具体的に取り組みや経験を共有する場にしよう”ということから、始まりましたが、まさにそのような変革、社会的な転換が求められている年になったと感じております。

春季大会に続き、全国大会としては初めてのオンラインでの実施ということで、実行委員会一同なかなか難しい運営に直面しておりますが、オンラインということで対面であれば来れない方々にも、広くご参加いただけるのではないかと考えています。ぜひ国内外の多くの皆様に一般口頭発表、ポスター発表、企画セッション（日本語、英語）にご応募、またご参加いただきたく存じます。

2020 年 12 月 5 日、6 日の 2 日間にわたり、例年の国際開発学会の全国大会のようにパレルセッションを開催予定であり、また大会の全体テーマでの上野千鶴子氏（東京大学名誉教授/Women's Action Network (WAN) 理事長）による基調講演、および企業、援助機関、NGO、研究者とのパネルディスカッションや故緒方貞子氏をしのぶラウンドテーブルなども企画しております。詳しくは、全国大会 HP をご参照下さい。また、ML でも全国大会についてお知らせいたします。

なお、「国際開発学会と創立 120 周年を迎える津田塾大学」の特設ページが実行委員広報担当の小川裕子先生が中心となり作成されています。そちらもアップデートされる予定ですので、あわせてご覧下さい。

皆様とオンラインでお会いできることを楽しみにしております。

国際開発学会第 31 回全国大会	実行委員長	大野 泉
	事務局長	新海尚子
	会長	山形辰史
	大会組織委員長	佐藤仁